

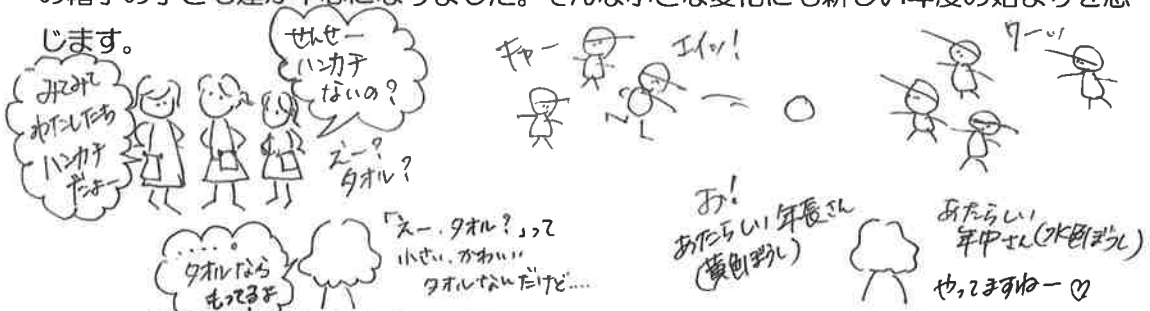
金城学院幼稚園
2022年度

こどもニュース

☆ 2022.4.15発行 ☆ No. 2

新しい年度の始まりです。寒い冬だった分、温かくなってからの季節の進みは早く、特に今週は暑いぐらいの気温で藤もモッコウバラもどんどん蕾が開いていますね。エントランス北側の花壇やプランターの花々も本当にきれいに咲き誇っています。お子様のご進級・ご入園おめでとございます。

始業礼拝後、2日間の年中長児の保育を行いました。不思議な事に始業礼拝の日を含め、3日間で子ども達の表情や顔つきがみるみる変わっていききました。年中さんらしく、年長さんらしく、相応しい姿になっていく子ども達自身の力に頼もしさを感じています。「ついに年長さん！」と誇らしげな年長さんはタオルから「ハンカチ」になったこと(園では年長さんだけハンカチです!)を嬉しそうにオリーブまで見せに来てくれます。年中さんもあちこちのお部屋に広がって遊び、園庭中央でのドッチボールも黄色と水色の帽子の子ども達が中心になりました。そんな小さな変化にも新しい年度の始まりを感じます。



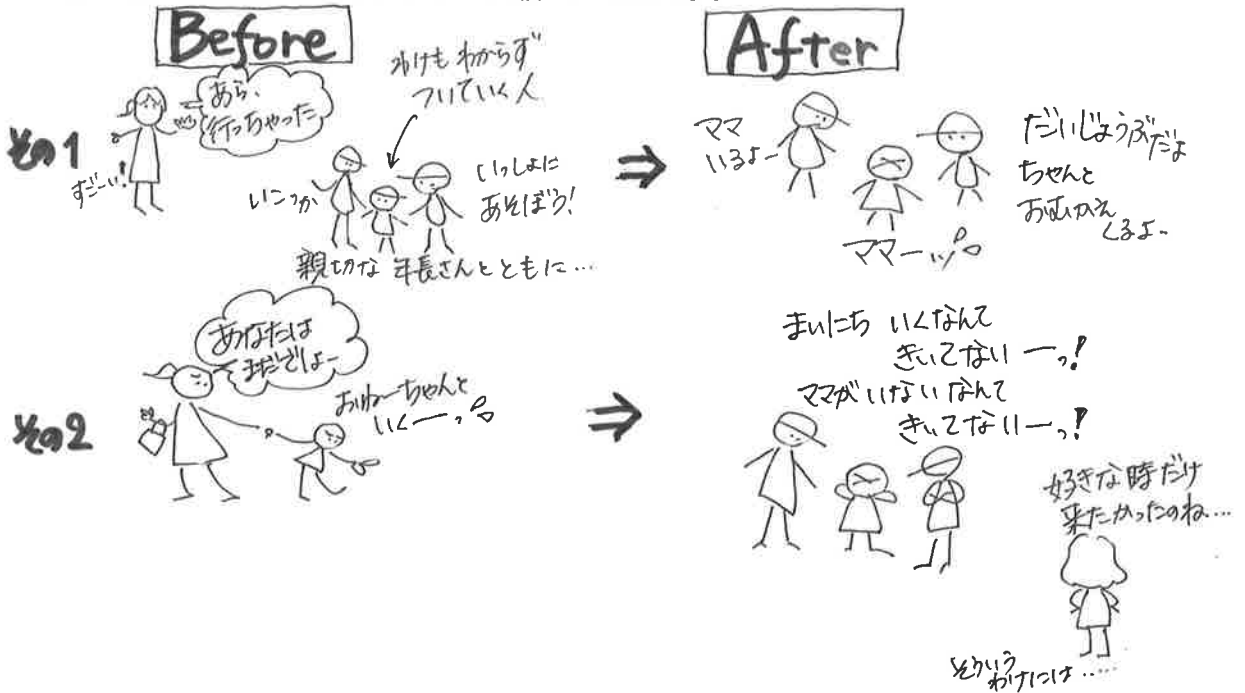
そして無事入園式を済ませ、いよいよ毎日の登園が始まった年少さん。初日の月曜日にはわけもわからずエントランスで「行ってきまあす」とおうちの方と別れたものの、事態がわかった翌日からは「行きたくない！」と坂道の途中からしびる姿も。また園内でも「おかあさん」と泣く子もいて、これからしばらく様々な「ドラマ」が繰り広げられることでしょう。

はじめておうちの人と離れ社会生活をはじめたわけですから心細くなったり悲しくなっても当たり前です。どうぞ、その気持ちを否定したり無理に頑張らせず、おうちの方自身も焦らず、温かく見守りつつ送り出してあげましょう。

(早く慣れて元気よく遊んでほしい)と思うのも親としては当然ですが、大人でも新しい環境に慣れるのには時間がかかるものです。「幼稚園が楽しくなる日はきっとくる」と信じて待ちましょう。とはいえ、心配も尽きないものです。どんな小さな事でもスタッフにお聞きください。

保護者会でもお話させていただきましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響が続くと思われます。感染状況により保育の内容や行事の変更を余儀なくされるかもしれません。その中でも園だよりに載せました今年度の保育の年主題「つながって～今、わたしを生きる～」を心に留め、どのような場面でも保護者の皆様と手を携え、つながって子ども達の成長を支えたいと思っております。

子ども達の成長を分かち合い喜び合うために、園ではこの「こどもニュース」を発行しています。子ども達の遊びの様子、保育者の思いなど「幼稚園の今！」を載せ随時発行していきます。どうぞよろしく願いいたします。



幼稚園のこの言葉ってなあに？

アンケートってなあに？

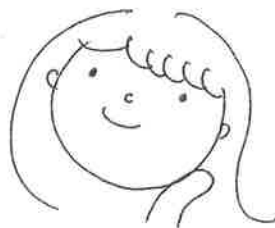
主に行事などの後に、おうちの方々にご協力いただくものです。私達は様々なご意見をもとに保育がさらに良い方向へ向かって行くように話し合い、より豊かな園生活をつくり上げていきたいと思っています。その時々感じたことや気付いたことなど、何でもお書きください。後日、『こどもニュース』にて、アンケートの文章を少し取り上げさせていただきます。様々な感想や考え方をみんなで共有していきましょう。お一人お一人の貴重な感想をお待ちしています。

また、『その他』の欄には、園生活に対しての質問など、行事にこだわらずにお書きくださって結構です。

あんなことが楽しかったわ
こんなことも行事までの間に
あって嬉しかったわ

年1回のこども
これは風だったわ
大きくなったのわ

これからどなたの風に
大きくなっていくから
楽しみだわ



キリスト教のこの言葉ってなあに??



その1. 「おいのり」ってなあに?

「かみさまとお話すること」です。

神さまは目には見えないので目を閉じ、手では触れることができないので手を組みます。そして「かみさま」と声をかけると神さまはその言葉を聞いてくださいます。嬉しいことも、悲しいことも、お友だちのことも、病気のことも神さまにお話しして聞いていただくことです。「ありがとう」と感謝のお祈りをすることもあります。

「アーメン」

この言葉はお祈りの最後に言う言葉です。ヘブライ語で「真実に」「確かに」という意味があります。「今お祈りしたことは本当です」「まったくそのとおりです」とみんなで心を合わせて言うものです。

幼稚園では、食事の前と降園前のクラスの集まりの中、そして水曜日の礼拝の中でお祈りをしています。しかし、「神さまにお話ししたいな」と思ったら、いつでもどこでもどんな時でもできる。それが「お祈り」です。



その2. 「けんきん」ってなあに?



神さまの恵みに感謝して、私たちの気持ちをあらわして献げるものです。

「今日はとってもいいお天気だったね。神さま太陽を造ってくださってありがとう」

「きれいな花を咲かせてくれてありがとう」

「おいしい食べ物をありがとう」

「友だちをありがとう」

「おとうさん、おかあさんをありがとう」

「私を造ってくださってありがとう」



たくさんの「ありがとう」を一つひとつ数えて、それを献金という形であらわし、広い世界の中で苦しんでいる人々の為にお役に立てたら…と考えます。金額ではなく、喜んで献げる気持ち、心を込めて神さまのご用の為に使っていただくという気持ちが子ども達の心の中にも育って行ってほしいと願っています。